

この夏、一匹の見習い警察犬が、愛と感動を届けます。
実話から生まれた、心あたたまる絆の物語。

きな子

～見習い警察犬の物語～

8月14日^土
ロードショー



夏帆 寺脇康文 / 戸田菜穂 山本裕典 / 遠藤憲一 / 浅田美代子 平田満
佐東英二 原史奈 広田裕平 大野百花 賀武 悠 有福正志 日野裕仁 竹嶋康成 榎子能収

監督・小林義則『アツアツ the movie』

製作総指揮/松竹一孝 プロデューサー/津島隆之 脚本/成瀬 祐之/コウジロー/寺川 洋之 脚本/津島隆之/成瀬 祐之
撮影/藤西賢二/山崎 博樹/藤原真一 美術/渡下幸治/A.P.M.J. 編集/伊藤祥隆 編集/伊藤真高 効果/小池勉 音楽/小池勉 衣装/藤原之 主題歌/Media/only one〜僕だけの世界
製作/松竹映画/松竹映画/松竹映画 松竹映画/松竹映画/松竹映画 松竹映画/松竹映画/松竹映画 松竹映画/松竹映画/松竹映画
www.kinako-movie.jp



第144期 報告書

(平成21年3月1日から平成22年2月28日まで)



松竹株式会社

株主の皆様へ

松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、当社は第144期（平成21年3月1日から平成22年2月28日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり3円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

連結決算ハイライト



事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、国内外における景気対策の効果により一部回復の兆しが見られたものの、米国に端を発した世界的金融危機の影響は根強く、雇用情勢、所得環境の悪化やデフレなど個人消費は低迷を続け、依然として厳しい状況で推移いたしました。

映画業界は、人気テレビドラマの映画化等により邦画が健闘し、入場人員1億6,929万7千人（前年比105.5%）、興行収入2,060億3,500万円（前年比105.7%）と前年を上回り、全国のスクリーン数も3,396スクリーンと前年よりも37スクリーン増加しました。また、12月後半に公開された3D作品の「アバター」がヒットし、日本でも3D上映作品が広く認知され、今後の3D作品への期待が高まりました。その一方で、ビデオグラム市場の落ち込みに歯止めがかからず、映像関連事業全体では厳しい状況が続いております。

演劇業界は、「歌舞伎座さよなら公演」で大盛況が続いている伝統文化の歌舞伎やミュージカルをはじめ、人気のある俳優や魅力ある演目による話題性の高い舞台が評価され、観客を集め安定した収益をあげました。一般演劇はお客様による選別が厳しく、興行の格差が一段と顕著になってきており、お客様のニーズに応じた魅力ある作品の提供が強く求められております。

不動産業界は、世界的な景気後退による企業収益の大幅な悪化の影響が根強く、賃貸不動産市場も低迷したまま推移し、オフィス空室率の上昇、賃料の下落など悪化状況が続いております。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動を展開いたしました。以上の結果、当連結会計年度は、売上高93,231百万円（前連結会計年度比98.1%）、営業利益3,452百万円（同219.2%）、経常利益1,962百万円（同267.9%）となり、特別利益146百万円、特別損失1,211百万円を計上し、当期純利益は715百万円（同414.4%）となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

映像関連事業

【配給】邦画12本、洋画2本、アニメ4本、シネマ歌舞伎4本の作品を公開いたしました。上期は、米アカデミー賞外国語映画賞を受賞した「おくりびと」をはじめ、「ヤッターマン」「GOEMON」「60歳のラブレター」等が健闘し、過去最短で興行収入100億円を突破しましたが、下期に入り期待した作品が苦戦しました。その中で、シリーズの幕を閉じるようになった「釣りバカ日誌20 ファイナル」がシリーズ最高の興行収入をあげ、また当期最後に公開した「おとうと」はベルリン映画祭のクロージング作品として招かれるなど、高い評価を得ました。

【興行】邦画、洋画合わせて304本の作品を公開しました。新宿ピカデリーが好稼働し、年間興行収入25億円を超え全国ナンバーワンとなり、札幌、名古屋、なんば等のシネコンも効率の良い番組編成を行った結果、高収益をあげました。また、連結子会社の株松竹マルチプレックスシアターズにおいては、「MOVIXココエあまがさき」が平成21年10月にオープンし、好評を博しております。

【テレビ制作】9作品43本を制作いたしました。高視聴率を獲得した連続時代劇「必殺仕事人2009」を筆頭に、装いを新たに「赤かぶ検事奮戦記」、好評を博している「鬼平犯科帳」「剣客商売」シリーズ、絵師歌麿を描いたスペシャル時代劇「だましゑ歌麿」、情報系番組「ルビコンの決断」「必殺を斬る」等、バラエティに富んだ作品が揃いました。また、権利販売も順調に稼働し、「必殺バチンコ」の追加生産、「必殺シリーズ」「必殺仕事人2009」のDVD化の好調等、収益に大きく貢献いたしました。

【映像ソフト】「釣りバカ日誌19 ようこそ！鈴木建設御一行様」「鴨川ホルモー」「HACHI 約束の犬」「カムイ外伝」等の劇場公開作品に加え、テレビシリーズのアニメーション「戦国BASARA 全7巻」を発売いたしました。また、「松本清張生誕100年記念」に際して、既に発売しております松本清張原作の18作品の新たなBOX化販売や、「砂の器」「ゼロの焦点」等、松本清張原作の代表

的10作品を出版社へライセンス販売し、DVDブック「松本清張傑作映画ベスト10」を出版する等、収益に貢献いたしました。デジタルリマスターした「男はつらいよシリーズ コンパクトBOX」も定番商品としてお客様にご好評いただき、安定した売上をあげました。

【テレビ放映権販売】主力の地上波・ゴールデンタイム放送枠のCM収入の減少に伴い、テレビ局の予算削減や映画専門番組枠の減少が続く厳しい状況の中、「釣りバカ日誌」シリーズが好調に推移し、また山田洋次監督の「母べえ」も高視聴率を獲得いたしました。

【海外向け作品販売】各国の映画マーケットの冷え込みに加え、円高という悪条件が加わり、配給会社の淘汰や作品の買い控えの傾向が依然続く中、2009年2月に「おくりびと」が米アカデミー賞外国語映画賞を受賞したことにより、世界各地でヒットを記録し、香港・台湾・シンガポールからは追加のロイヤリティが発生し、収益に貢献いたしました。また、本年2月のベルリン国際映画祭で「おとうと」がクロージング作品として上映され、山田洋次監督が特別功労賞（ペルリナーレ・カメラ賞）を受賞いたしました。

【CS放送事業】連結子会社の株衛星劇場において、HD放送の本格展開やIPTV放送を開始する等、高画質化とプラットフォームの多様化を進めました。

演劇事業

【歌舞伎座】「歌舞伎座さよなら公演」として、「女殺油地獄」で片岡仁左衛門が大奮闘した「六月大歌舞伎」、坂東玉三郎・市川海老蔵顔合わせによる泉鏡花作品の再演が高い評価を得た「七月大歌舞伎」、豪華顔ぶれによる現歌舞伎座での最後の正月公演「寿初春大歌舞伎」、十七代目中村勘三郎二十三回忌追善の「二月大歌舞伎」等、いずれも魅力ある演目と俳優で高収益をあげました。

【新橋演舞場】ロンドンからの凱旋公演「NINAGAWA十二夜」、



「釣りバカ日誌20ファイナル」
©2009 松竹



「おとうと」
©2010「おとうと」製作委員会



歌舞伎座平成21年11月
「仮名手本忠臣蔵・大序」
©松竹株式会社

市川海老蔵が創り出す新作歌舞伎の「石川五右衛門」、劇団新感線との提携公演「蛮曲鬼」、市川猿之助によって復活上演された「歌紅葉汗顔見勢 伊達の十役」に市川海老蔵が初めて取り組んだ「初春花形歌舞伎」が話題を呼び、好成績を収めました。

【大阪松竹座】新橋演舞場から引き続き続く「NINAGAWA十二夜」凱旋公演が好評を博し、また劇団創立60周年記念公演「松竹新喜劇」や、藤山直美、田村亮による「藤山寛美没後20年二月喜劇特別公演」が健闘いたしました。

【南座】「吉例顔見世興行」や花形歌舞伎「小笠原騒動」、沢田研二・藤山直美による「桂春団治」が好稼働し収益をあげました。

【その他の松竹主催公演】シアターコクーンでの上演が本年度10回目を数え、4年ぶりのお目見えとなった「桜姫」は更に練り上げられ、高い評価を得ました。三越劇場は、新劇の名作を新派公演として上演した「女の一生」、小津安二郎の秀作を山田洋次監督の脚本演出によって劇化した「琴秋」が、二作品共に話題を呼び好評を博しました。日生劇場は、松たか子主演のブロードウェイ・ミュージカル作品「ジェーン・エア」が高い評価を得ました。恒例となりました浅草公会堂の「新春浅草歌舞伎」は、花形俳優の活躍によって好成績を収めました。

【巡業公演】今回第二十五回公演を数えた「四国こんびら歌舞伎大芝居」、公文協主催による「松竹大歌舞伎」東コース・中央コース・西コース、八千代座百周年オープニング記念「坂東玉三郎特別舞踊公演」等が好稼働いたしました。また、全国各地の小学生たちへ歌舞伎の面白さを伝える文化庁助成の歌舞伎学校巡回公演も話題を呼びました。さらに御園座・博多座をはじめ他劇場の公演製作も収益に寄与いたしました。

【海外公演】歌舞伎とシェイクスピアを結実させた「NINAGAWA十二夜」のロンドン公演、市川團十郎を中心とする「松竹大歌舞伎モナコ公演」が、現地で高い評価を得て、国際文化交流に貢献いたしました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】シネマ歌舞伎は、「刺青奇偶」「牡丹亭」「怪談牡丹燈籠」「法界坊」が公開され、堅調に推移いたしました。また3年目を迎えたMETライブビューイングは、「トスカ」「トゥーランドット」「カルメン」等の知名度ある作品がならび、人気を博しました。

不動産事業

不動産賃貸は、賃貸不動産市場の低迷が続く中、各ビルとも効率的運営に努めました。東劇ビル、新宿松竹会館、築地松竹ビル(ADK松竹スクエア)等が順調に推移し、安定収入の確保に貢献いたしました。リニューアル工事を行いました松竹京都撮影所では、立命館大学と京都府との産学公連携プロジェクトが平成21年4月より始動し、新たな映像製作や将来を担う人材の育成、映像技術の研究開発等、文化の創造・発展に寄与しております。大船の松竹ショッピングセンターでは、平成21年8月に新規大型テナントが入居いたしました。

その他の事業

プログラム・キャラクター商品は、「ヤッターマン」「ターミネーター4」「ハリー・ポッターと謎のプリンス」「THIS IS IT」「大怪獣バトル ウルトラ銀河伝説」等の健闘に加え、「歌舞伎座さよなら公演」を記念した「2010年松竹カレンダー」も好評のもと、堅調に推移いたしました。

また、イベント事業においても、大手遊園地や大型百貨店からの定期的な受注をはじめ、文化催事や物販催事等幅広く展開いたしました。夏休みには、連結子会社の松竹芸能㈱と合同でおばけ屋敷を運営し、お客様から好評を得て最高動員数を記録し、収益に貢献いたしました。

連結子会社の松竹衣裳㈱は、演劇・舞踊・映画・テレビ業界の貸衣裳を中心として、堅調な成績を収めました。



日生劇場平成21年9月
「Musical ジェーン・エア」
©松竹株式会社



松竹京都撮影所



「HACHI 約束の犬」
©Hachiko,LLC

対処すべき課題

今後のわが国経済は、緩やかながら次第に持ち直しに向かうことが期待されるものの、雇用情勢の一層の悪化やデフレなどの影響で、引き続き深刻な状況が続くと思われます。このような景気の先行き不透明感が消費者の選別志向をより高め、今後さらには厳しい経営環境の推移が予想されます。

当社グループは、企業価値を高め、あらゆる世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇のコンテンツを創造して参ります。そのために、新たな取り組みやコスト削減を実施し、コンテンツの充実を図ることで、利益の向上を目指します。一方で、強固な経営基盤を確立させ、社会から信頼される企業を目指し、コンプライアンス経営の強化に取り組み、企業価値の更なる向上に鋭意努力して参ります。

また、当社グループの中核事業である映像・演劇事業は、予想と実績の乖離が大きいという特性を踏まえ、安定した収益基盤を着実に強化し、事業を展開いたします。

映像関連事業は、映画の製作・配給につきまして、企画の選別力を強化し、優れたパートナーとの連携を深めることで、時代のニーズをとらえた作品の提供に努めて参ります。そのために、邦画・洋画を問わずお客様に喜んでいただける、バリエーションに富んだ作品を厳選して揃え、1本1本丁寧な営業・宣伝・販売活動に邁進すると同時に、厳しい市場環境も踏まえて収益性を精査して参ります。

映画興行は、丸の内ピカデリー・新宿ピカデリーを核にしたチェーンによる柔軟で強力な番組編成と、顧客満足向上と効率化を目指した劇場運営に努め、収益の安定に努めます。また、近年急速に進んでいる、3Dシステムを含んだデジタル化について、効率的な設備投資の検討を進めて参ります。

映像ソフトは、ビデオマーケットの縮小に対応すべく、劇場公開作品他、新作販売に加え、当社の強みである豊富なライブラリー作品を既存販路のみならず、書籍ルート等新販路への拡販にも注力し、収益拡大を目指して参ります。

テレビ制作は、好評の時代劇シリーズやサスペンスドラマに止まらず、新たな企画制作にも挑戦すると共に、権利ビジネスの番

組販売では、キラーコンテンツの「必殺シリーズ」「鬼平犯科帳」「剣客商売」の3作品を中心に販売して参ります。

演劇事業は、演劇興行の中心である歌舞伎座が本年4月興行終了をもって、建替え工事のため休館いたしました。今後は新橋演舞場での歌舞伎公演を中心に、大阪松竹座・南座の関西直営劇場、各座での公演、旅巡業等で、従来と同様の公演数を行い、安定した収益をあげるよう努めます。また、歌舞伎を国内外に広めるべく、巡業や海外公演も積極的に展開し、演劇と映像が融合した「シネマ歌舞伎」「METライブビューイング」も引き続き充実した作品を提供して参ります。厳しい経済環境の中、お客様の嗜好にも多様化が進み、集客力をアップさせることが大変難しくなっておりますが、今後も各直営劇場でのお客様に対するサービス向上に努め他劇場との差別化を図り、同時にコスト削減にも取り組んで利益向上に努めて参ります。

不動産事業は、不動産不況、オフィス賃貸低迷の中、これまで以上に業界の動向に関する情報を的確に入手した上で、積極的に全国保有不動産の利用価値の最大化を目指し、安定収入の確保に努めます。また、建物施設の保全管理に万全を期し、快適な環境づくりを目指します。東銀座の松竹倶楽部ビルは3月に竣工し、新木場の賃貸用倉庫は夏頃に竣工を予定しております。さらに、歌舞伎座の建替え計画につきましては、5月より工事に着手し、特徴的な部材の保存採取や解体作業を含め、約3年間の建替え工事を予定しております。新しい歌舞伎座で歌舞伎が次代に向け継承・発展、さらには新たな日本の文化発信拠点として寄与するよう、今後とも計画を練り上げて参ります。

その他の事業は、景気低迷による一般顧客の買い控えにより、劇場関連商品の購買を如何に引き上げるかが急務な課題となっております。プログラム・キャラクター商品は付加価値を持たせることで、より魅力ある商品展開をして参ります。また、毎回ご好評いただいております「松竹歌舞伎検定」は、4級から2級までを実施し、歌舞伎ファンの裾野を一層広げる努力をして参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



「BECK」2010年9月4日(土) 全国ロードショー
©2010「BECK」製作委員会



新橋演舞場
©松竹株式会社



新木場の賃貸用倉庫（夏頃竣工予定）

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	144期 (平成22年2月28日現在)	科目	144期 (平成22年2月28日現在)
資産の部		負債の部	
流動資産	35,838,354	流動負債	25,915,843
現金及び預金	17,729,494	支払手形及び買掛金	7,499,418
現金及び預金(責任財産限定対象)	960,556	短期借入金	2,340,100
信託預金(責任財産限定対象)	3,470,715	1年内返済予定の長期借入金	6,051,208
受取手形及び売掛金	6,726,723	1年内返済予定の長期借入金(責任財産限定)	735,000
有価証券	800,949	1年内償還予定の社債	1,300,000
商品及び製品	1,903,590	リース負債	115,401
仕原材料及び貯蔵品	970,818	未払金	2,458,726
前払費用	876,084	未払費用	1,010,728
前払延税資産	709,724	未払事業所税	102,594
立延消費税	453,082	未払法人税等	255,280
未収消費税	242,613	未払消費税等	458,452
未収消費税	32,441	賞与引当金	393,469
貸倒引当金	911,480	リース資産減損勘定	122,542
固定資産	△ 33,398	その他	3,072,921
有形固定資産	120,240,680	固定負債	72,618,911
建物及び構築物	97,454,615	長期借入金	34,328,886
信託建物(責任財産限定対象)	20,989,686	長期借入金(責任財産限定)	29,425,000
設備	14,939,942	リース負債	512,285
機械装置及び運搬具	15,101,424	繰延税金負債	793,480
工具、器具及び備品	1,062,854	退職給付引当金	1,196,585
土地	1,369,266	役員退職慰労引当金	624,769
信託土地(責任財産限定対象)	22,964,586	長期リース資産減損勘定	206,492
リース資産	18,751,834	受入保証金	5,010,057
建設仮勘定	501,667	その他	521,354
その	1,696,513	負債の純資産合計	98,534,755
無形固定資産	76,837	純資産の部	
繰地権	2,332,396	株主資本	57,367,237
商標	765,349	資本剰余金	28,143,695
その	1,283,969	資本剰余金	25,199,919
ソフトウエア	16,227	利益剰余金	5,259,407
投資その他の資産	201,251	自己株式	△ 1,235,784
投資有価証券	65,598	評価・換算差額等	△ 42,333
長期有価証券	2,565,716	その他有価証券評価差額金	△ 42,333
長期前払費用	654,682	新株予約権	72,542
繰延税金資産	434,415	少数株主持分	146,833
繰延税金資産	5,542,287	純資産合計	57,544,279
貸倒引当金	1,240,777	負債・純資産合計	156,079,035
貸倒引当金	△ 224,518		
資産合計	156,079,035		

連結株主資本等変動計算書

(平成21年3月1日から平成22年2月28日まで)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計			
平成21年2月28日残高	28,143,695	25,199,900	4,829,276	△ 1,190,410	56,982,462	△ 257,153	△ 257,153	77,522	684,938	57,487,768
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 373,783		△ 373,783					△ 373,783
当期純利益			715,174		715,174					715,174
連結範囲の変動			94,510		94,510					94,510
持分法の適用範囲の変動			△ 5,770		△ 5,770					△ 5,770
自己株式の取得				△ 47,138	△ 47,138					△ 47,138
自己株式の処分				1,939	1,958					1,958
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△ 176	△ 176					△ 176
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						214,820	214,820	△ 4,980	△ 538,104	△ 328,264
連結会計年度中の変動額合計		18	430,130	△ 45,374	384,775	214,820	214,820	△ 4,980	△ 538,104	56,510
平成22年2月28日残高	28,143,695	25,199,919	5,259,407	△ 1,235,784	57,367,237	△ 42,333	△ 42,333	72,542	146,833	57,544,279

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	144期 (平成22年2月28日現在)	科目	144期 (平成22年2月28日現在)
資産の部		負債の部	
流動資産	23,314,902	流動負債	17,511,082
現金及び預金	13,560,379	買掛金	4,487,557
現金及び預金	5,393,859	短期借入金	6,027,232
信託預金	665,284	1年内償還予定の社債	1,300,000
受取手形及び売掛金	307,604	リース負債	35,501
有価証券	627,505	未払金	1,850,210
商品及び製品	5,287	未払費用	651,076
仕原材料及び貯蔵品	13,310	未払事業所税	55,750
前払費用	746,499	未払法人税等	97,902
前払延税資産	223,247	未払消費税等	371,772
立延消費税	437,154	前払受取金	1,477,642
未収消費税	59,695	預かり引当金	604,870
未収消費税	250,762	リース資産減損勘定	312,051
貸倒引当金	1,044,276	その他	△ 19,964
固定資産	△ 19,964	固定負債	236,632
有形固定資産	89,233,018	長期借入金	37,967,141
建物及び構築物	53,059,358	長期借入金	30,870,603
信託建物(責任財産限定対象)	19,984,595	リース負債	123,180
設備	6,936,905	繰延税金負債	757,129
機械装置及び運搬具	117,346	退職給付引当金	402,056
工具、器具及び備品	616,045	役員退職慰労引当金	462,862
土地	510	長期リース資産減損勘定	6,859
信託土地(責任財産限定対象)	1,062,570	受入保証金	4,982,782
建設仮勘定	22,563,413	その他	361,666
その	81,458	負債合計	55,478,223
無形固定資産	1,696,513	純資産の部	
繰地権	1,122,907	株主資本	56,968,781
商標	13,095	資本剰余金	28,143,695
その	974,866	資本剰余金	25,062,331
ソフトウエア	16,227	利益剰余金	23,068,561
投資その他の資産	99,062	自己株式	1,993,769
投資有価証券	19,656	評価・換算差額等	4,535,315
長期有価証券	35,050,752	その他有価証券評価差額金	4,535,315
長期前払費用	9,007,370	固定資産圧縮積立金	3,596,763
繰延税金資産	12,751,176	繰越利益剰余金	938,551
未収消費税	5,267,425	自己株式	△ 772,559
未収消費税	4,764,945	評価・換算差額等	28,373
貸倒引当金	4,446,920	純資産合計	72,542
貸倒引当金	751,907	負債・純資産合計	57,069,697
貸倒引当金	△ 298,113		
投資損失引当金	△ 1,640,879		
資産合計	112,547,921		

株主資本等変動計算書

(平成21年3月1日から平成22年2月28日まで)

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計						
平成21年2月28日残高	28,143,695	23,068,561	1,993,750	25,062,312	3,638,748	784,417	4,423,165	△ 727,361	56,901,811	△ 199,681	△ 199,681	77,522	56,779,651
事業年度中の変動額													
固定資産圧縮積立金の取崩					△ 41,984	41,984	-		-				-
剰余金の配当						△ 374,227	△ 374,227		△ 374,227				△ 374,227
当期純利益						486,377	486,377		486,377				486,377
自己株式の取得								△ 47,138	△ 47,138				△ 47,138
自己株式の処分								1,939	1,958				1,958
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										228,055	228,055	△ 4,980	223,075
事業年度中の変動額合計		-	-	18	18	△ 41,984	154,134	112,149	△ 45,198	66,970	228,055	△ 4,980	290,045
平成22年2月28日残高	28,143,695	23,068,561	1,993,769	25,062,331	3,596,763	938,551	4,535,315	△ 772,559	56,968,781	28,373	28,373	72,542	57,069,697

「歌舞伎座さよなら公演」 終幕



©松竹株式会社

平成21年1月に開幕いたしました「歌舞伎座さよなら公演」は、平成22年4月興行をもちまして、大千穂楽を迎えました。古典の名作から新作歌舞伎まで、選りすぐりの多彩な演目を、さよなら公演ならではの豪華な顔合わせにて上演し、毎月大きな評判を頂きました。大詰めを迎えた本年3月、4月には「御名残大歌舞伎」と銘打ちまして二ヶ月連続三部制興行を行い、より多くのお客様にご来場を頂き、社会的にも大きな注目を集めました。最終日となる4月30日には「歌舞伎座閉場式」を開催し、60年に及ぶ役目を果たした四代目歌舞伎座は、数々の名舞台と思い出を残し、喝采の中その幕を引きました。

「歌舞伎座さよなら公演」に賜りましたご愛顧に厚く御礼を申し上げますとともに、三年後新しく御目見得いたします歌舞伎座にも、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【レイルウェイズ】 RAILWAYS

49歳で電車の運転士になった男の物語

「ALWAYS 三丁目の夕日」シリーズの企画・制作ROBOTが贈る、新たな感動作が誕生しました。

「何か大切なものを失っていないか？」
一流企業で出世街道を走ってきた肇（49歳）は、故郷で一人暮らし母親が病床に伏したことをきっかけに、はたと気づく。家族との絆は薄れ、自分らしさも感じない人生。そして肇は、幼い頃に描いた夢“バタデンの運転士”になる決意をする。

田舎暮らしや農業、鉄道ブームが話題を集める中、試写会でも同世代の方々がこの映画に対して圧倒的な共感を示してくださっています。故郷の美しい風景、後々語り継がれるであろう鉄道の名シーンの数々、そして何より変わっていく肇と妻、娘、母親とのドラマは感動なしには観られません。

4月下旬のロケ地島根でのキャンペーンでは、中井貴一さん、三浦貴大さん、錦織監督、阿部秀司プロデューサーを始め、精力的に取材や舞台挨拶を行なっていただきました。その舞台挨拶の際に中井貴一さんが仰った素敵な言葉を最後に。

『人は自分が信じれば何歳になってもやりたいことを実現できます。』

その意味は、ぜひ映画館で確かめてみてください。

中井貴一 高島礼子 本仮屋ユイカ 三浦貴大・奈良岡朋子

監督：錦織良成 脚本：錦織良成／ブラジリィー・アン・山田／小林弘利
配給：松竹©2010「RAILWAYS」製作委員会

2010年5月29日(土) 全国ロードショー



©2010「RAILWAYS」製作委員会

当社の情報 (平成22年2月28日現在)

会社の概要

商号 松竹株式会社
 設立 大正9年11月
 資本金 28,143,695,022円
 従業員数 612名

本社、支社および営業所

本社 東京都中央区築地四丁目1番1号
 電話 03-5550-1533 (総務課)
 関西支社 (大阪)
 九州営業所 (福岡)

当社ホームページ

<http://www.shochiku.co.jp/>

役員

代表取締役会長 大谷信義
 代表取締役社長 大迫本淳
 専務取締役 野田助嗣
 専務取締役 安孫子正厚
 常務取締役 中島厚彦
 常務取締役 白井信彦
 常務取締役 細田光人
 取締役相談役 上條清文
 取締役 油谷昇
 取締役 荒牧大四郎
 取締役 武中雅人
 取締役 井手良樹
 常勤監査役 岡田敏明
 監査役 柏木俊彦
 監査役 中川勝弘

グループ会社一覧

連結子会社

- ・松竹衣裳 (株): 舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹サービスネットワーク: 映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備
- ・松竹関西サービス (株): 不動産管理・清掃
- ・(株)ショウビズスタジオ: 舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
- ・中映 (株): 浅草中映劇場他4スクリーンの映画館運営
- ・松竹芸能 (株): タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
- ・(株)衛星劇場: CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
- ・(株)松竹京都撮影所: 劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
- ・(株)松竹デジタルセンター: 映像制作、編集およびDVDオーサリング
- ・(株)松竹マルチプレックスシアターズ: 複合映画館 (シネマコンプレックス) の開発・運営
- ・(株)トライメディア: 劇場上映のCMの制作および送出、その他のマルチメディア全般の企画開発等
- ・松竹音楽出版 (株): 映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- ・歌舞伎座舞台 (株): 演劇舞台の大道具製作・販売
- ・(株)松竹ニューセレクト: 複合映画館「MOVIX本牧」(8スクリーン) の映画館運営
- ・(株)関西美術: 演劇舞台の小道具製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳 (株): 舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)歌舞伎チャンネル: CS・CATV放送局、ソフト製作・編集
- ・(株)松竹エンタテインメント: 俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
- ・匿名組合築地ビルキャピタル: ADK松竹スクエアの賃貸借および管理

持分法適用会社

- ・(株)サンシャイン劇場: サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ・札幌シネマフロンティア(株): 複合映画館「札幌シネマフロンティア」(12スクリーン) の運営
- ・(株)イヤホンガイド: 演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・日本映像振興 (株): 映像関連イベントの企画・運営
- ・(株)歌舞伎座: 歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場 (株): 新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸

株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000株
 発行済株式の総数 125,695,578株 (自己株式1,013,231株を含んでおります)
 株主数 18,997名 (前事業年度末比897名減)
 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802千株	3.85%
株式会社みずほコーポレート銀行	4,500	3.61
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344	3.48
セコム株式会社	3,700	2.97
三井物産株式会社	3,700	2.97
株式会社大林組	3,600	2.89
大成建設株式会社	3,444	2.76
みずほ信託銀行株式会社信託口西松建設株式会社	3,288	2.64
株式会社TBSテレビ	2,542	2.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託東京急行電鉄口)	2,062	1.65

(注)持株比率は自己株式(1,013,231株)を控除して計算しております。

株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数 (1ヶ月使用可能ポイント数)	
1,000株以上	80ポイント	(40ポイント)
2,000株以上	160ポイント	(60ポイント)
3,000株以上	200ポイント	(80ポイント)
5,000株以上	280ポイント	(100ポイント)
8,000株以上	400ポイント	(120ポイント)
10,000株以上	480ポイント	(140ポイント)

【演劇優待 枚数基準】

保有株式数	6ヶ月優待枚数
3,000株以上	2枚
5,000株以上	4枚
8,000株以上	6枚
10,000株以上	8枚
15,000株以上	12枚
20,000株以上	16枚

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。

そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。

※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様20ポイントが必要となります。

新宿ピカデリーは公開の2週目(8日目)以降から利用可能です。「プラチナシート」・「プラチナルーム」はご利用になれません。

